

ウガンダ国運輸交通分野におけるジェンダー関連情報

1. ジェンダー関連政策・制度

<ジェンダー政策および制度>

- 1995年に制定されたウガンダ憲法はジェンダー平等の総合的な法的枠組みであり、第21条に男女間の平等、第32条に軽視されたグループを支援するためのアフーマティブ・アクション、第32条に女性の権利が掲げられている。(出典1, 2, 3)
- ジェンダー労働社会開発省 (Ministry of Gender, Labour and Social Development: MGLSD) は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメント達成のための明確な枠組みを設けることを目的として1997年に「ジェンダー政策 (Uganda Gender Policy: UGP)」を作成し、2007年に改訂した。UGPは、ジェンダー視点を組み込んだプログラムの計画・予算配分・実施及び評価のガイドラインとなっている。(出典3,4)
- 「女性のための国家活動計画 (National Action Plan for Women: NAPW)」は1999年から2004年及び2006年から2010年にかけて2度策定されている。2度目のNAPWでは、女性のエンパワーメント及び進出をもたらすために重要な下記5分野を確認している。1) 法及び政策枠組み・リーダーシップ、2) 女性の社会経済的エンパワーメント、3) 性や生殖に関する健康・権利・責任、4) 女兒の教育、5) 平和構築・紛争解決、暴力からの解放 (出典5)
- 2040年までに高中所得国への移行を目的とした「ビジョン2040 (Vision 2040)」は2007年に国会で承認され、「社会経済変化のためのジェンダー平等と女性のエンパワーメント」として取り上げられている。(出典6)
- 「第2次国家開発計画 (2015/16会計年度～2019/20会計年度) (Second National Development Plan: NDP II 2015/16-2019/20)」において社会開発分野は、適切な雇用と労働生産性の向上、地域の動員の強化及びエンパワーメント、社会保障サービスの提供、若者の雇用及び参加の推進、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進、制度能力の強化と不均衡の是正、全ての人への平等な機会の推進に重点を置いている。(出典7)

出典	1. JICA (2007) “Uganda; Country Gender Profile”, http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/a0b426e5087691cf49257afe000cdf45/\$FILE/ATTP15N8.pdf/%E8%8B%B1%E8%A%9E%E7%89%88%202007.pdf
	2. The State House of Uganda (1995) “Constitution of The Republic of Uganda, 1995”, http://www.statehouse.go.ug/government/constitution

3.	Ministry of Gender, Labour and Social Development (2008) “The Uganda Action Plan on UN Security Council Resolutions 1325 & 1820 and the Goma Declaration”, http://www.peacewomen.org/nap-uganda
4.	Centre for Women in Governance (2012) “Monitoring Implementation of Uganda Action Plan (NAP) for UNSCR 1325, 1820 and the Goma Declaration”, https://actionplans.inclusivesecurity.org/countries/uganda/
5.	Ministry of Gender, Labour and Social Development (2009) “Combined 4 th , 5 th , 6 th & 7 th Periodic Report on the Implementation of Convention of Elimination of All Forms of Discrimination Against Women (CEDAW) in Uganda”, http://www2.ohchr.org/english/bodies/cedaw/docs/co/CEDAW-C-UGA-CO-7.pdf
6.	National Planning Authority (2007) “Vision 2040”, http://npa.ug/uganda-vision-2040/
7.	The Republic of Uganda (2015) “Second National Development Plan (NDP II) 2015/16-2019/20”, http://npa.ug/wp-content/uploads/NDPII-Final.pdf
作成日： 2016年 6月 16日	

<運輸交通分野：政策および制度におけるジェンダー主流化の現状>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 2040年までに高中所得国への移行を目的とした「ビジョン 2040 (Vision 2040)」は2007年に国会で承認され、陸、空、海におけるインフラ整備について記載されている。また「社会経済変化のためのジェンダー平等と女性のエンパワーメント」が明記されている。(出典1) ● 建設交通省 (Ministry of Works and Transport) は2011年に18指標からなる運輸交通分野の「金指標 (Golden Indicator)」を設定している。18番目の指標において分野横断の問題の一つとしてジェンダーが挙げられ、2014/15会計年度に5政府機関にジェンダーフォーカルポイントが配属され、女性の雇用割合が26%に増加したことが明記されている。 ● 「第2次国家開発計画 (2015/16会計年度～2019/20会計年度) (Second National Development Plan: NDP II 2015/16-2019/20)」において、運輸交通分野にはジェンダー視点に立った記載はない。(出典3)
出典	<ol style="list-style-type: none"> 1. National Planning Authority (2007) “Vision 2040”, http://npa.ug/uganda-vision-2040/ 2. Ministry of Works and Transport (2015) “Annual Sector Performance Report FY2014/15”, http://www.works.go.ug/document-category/reports/ 3. The Republic of Uganda (2015) “Second National Development Plan (NDP II) 2015/16-2019/20”, http://npa.ug/wp-content/uploads/NDPII-Final.pdf
作成日： 2016年 4月 19日	

<運輸交通分野：ジェンダー主流化に係る関係機関>

機関名		備考（役職名など）
ジェンダー労働社会開発省（Ministry of Gender, Labour and Social Development: MGLSD）		ジェンダー政策の策定、ジェンダー視点に立ったプログラムの計画・予算配分・実施・評価を行っている
建設交通省（Ministry of Works and Transport）		省内の機関にジェンダーフォーカルポイントを配置し、女性の雇用を推進している
出典	1. JICA (2007) “Uganda; Country Gender Profile”, http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/a0b426e5087691cf49257afe000cdf45/\$FILE/ATTP15N8.pdf/%E8%8B%B1%E8%A%9E%E7%89%88%202007.pdf 2. Ministry of Works and Transport (2015) “Annual Sector Performance Report FY2014/15”, http://www.works.go.ug/document-category/reports/	
		作成日： 2016年4月21日

2. 運輸交通分野：JICA の支援状況

<概要>

<p>ウガンダに対する JICA の 4 つの重点分野の一つに「経済成長を実現するための環境整備」が掲げられ、インフラ整備等に係る支援を通じて、内陸国ウガンダの経済成長に不可欠である円滑な物資輸送に取り組んでいる。（出典 1）運輸交通分野では、「アムル県総合開発計画策定支援プロジェクト」が開発計画調査型技術協力により、「アチョリ地域地方道路網開発計画プロジェクト」が開発調査により、それぞれジェンダー活動統合案件として実施されている。（出典 2, 3, 4, 5）</p>	
出典	1. 外務省（2015）『国別データブック』、 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000142269.pdf 『国別情報』、 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/africa/uganda/index.html 2. JICA（2009~2013）『ジェンダー主流化推進年次報告書』、 http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument

3.	JICA (2012) 『最終報告書（要約編） アムル県総合開発計画作業支援プロジェクト』、 http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12068375_01.pdf
4.	JICA (2009) 『事業事前評価表（要約編） アムル県総合開発計画作業支援プロジェクト』、 http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/index.php?ankenNo=0901623&schemes=&evalType=&start_from=&start_to=&list=search
5.	JICA (2012) 『ファイナルレポート（要約版） アチョリ地域地方道路網開発計画プロジェクト』、 open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12080511.pdf
作成日： 2016年 6月 10日	

< 案件例 >

案件名（協力年度）	アチョリ地域地方道路網開発計画プロジェクト（2011年4月～2012年4月）
本案件は、アチョリ地域全体の道路網整備計画を明確化し、効率的な地域開発を進め、帰還後の国内避難民の生活改善と北部地方全体の復興・開発の促進を目的としている。本事業による幹線道路の整備を通じて、雨季の間、女性や子供が担う井戸での水汲み労働の軽減が期待される。	
出典	1. JICA (2012) 『ファイナルレポート（要約版） アチョリ地域地方道路網開発計画プロジェクト』、 http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12080511.pdf
作成日： 2016年 4月 21日	

< 案件リスト >

No.	協力年度		事業形態	案件名	ジェンダー分類*1	ジェンダー視点
	開始	終了				
1.	2011.4	2012.4	開調	アチョリ地域地方道路網開発計画プロジェクト	GI(S)	上記参照
2.	2009.8	2011.11	開技	アムル県総合開発計画策定支援プロジェクト	GI(S)	パイロットプロジェクトの実施において、寡婦、孤児、高齢者及び元兵士が裨益することが考慮された（出典2）
出典	1. JICA (2009~2013) 『ジェンダー主流化推進年次報告書』、 http://gwwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument					

2. JICA (2009) 『事業事前評価表（要約編） アムル県総合開発計画作業支援プロジェクト』、 http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/index.php?ankenNo=0901623&schemes=&evalType=&start_from=&start_to=&list=search
--

作成日： 2016年4月21日

*1ジェンダー分類：GI=ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件（Gender Informed）
GI(P)=ジェンダー平等政策・制度支援案件、女性を主な裨益対象とする案件（Gender Informed (Principal)）
GI(S)=ジェンダー活動統合案件（Gender Informed (Significant)）

3. **運輸交通**分野：他ドナーの支援状況

ドナー（1）	世界銀行（World Bank）
支援概要	世界銀行は、ウガンダ国北部を再統合し、近隣国との貿易を促進するための重要な回廊を修繕する一方で、良好な状態の道路の割合を増やすことを目指している。また、農村の人々の年間を通した道路へのアクセス強化も目指している。（出典1）
案件例	Transport Sector Development Project（2009年12月～2016年1月） 本案件は、国道網の改善、道路安全管理のための能力向上、運輸分野及び国の道路管理の改善を通じて、運輸分野のコネクティビティと効率性を改善することを目的としている。実施機関であるウガンダ道路公社（Uganda National Transportation Authority）は、雇用機会、作業場の環境及び状況、HIV/AIDS、性感染症及び道路安全等について、男女に平等で公正な情報提供や情報へのアクセスを担保している。（出典2）
出典	1. World Bank (2010) “Country Assistance Strategy for the period FY2011-2015”, http://documents.worldbank.org/curated/en/2010/04/12187862/uganda-country-assistance-strategy-period-fy2011-2015 2. World Bank (2009) “Transport Sector Development Project (Project Appraisal Document)”, http://documents.worldbank.org/curated/en/2009/11/11396314/uganda-transport-sector-development-project

作成日： 2016年4月21日

ドナー (2)	アフリカ開発銀行 (African Development Bank: AfDB)
支援概要	AfDB は、インフラの開発及び貧困削減のための技術開発能力の向上をウガンダ国に対する協力の 2 本柱としている。インフラの開発において、道路交通セクターでは、生産、競争、地域の貿易を促すために重要な道路の建設、改修及び維持管理を重視している。(出典 1) また道路プロジェクトは、性的搾取の発生、性的虐待や暴力、HIV/AIDS を含む性感染症、道路事業期間中の男性労働者の地域への流入により生まれる私生児などの問題を減らすための計画を作成していく。(出典 2)
案件例	Road Sector Support Project V (実施期間の掲載なし) ウガンダ国南東部及び東部の道路を対象とした本案件では、「ジェンダーとエンパワーメント」が 5 つの構成要素の一つとされている。具体的には、道路沿いで商売している女性の物売りに貨物自転車やロボの荷押車などエンジンのない乗り物を紹介する。また労働者との望まない性関係を防ぐため、女兒及び女性を中心とした HIV/AIDS プログラムを実施予定である。(出典 3)
出典	<ol style="list-style-type: none"> 1. AfDB (2010) “Result-Based Country Strategy Paper 2011-2015”, http://www.afdb.org/en/countries/east-africa/uganda/ 2. AfDB (2014) “Investing in Gender Equality for Africa’s Transformation (Gender Strategy 2014-2018)”, http://www.afdb.org/en/documents/document/2014-2018-bank-group-gender-strategy-45332/ 3. AfDB (2014) “Road Sector Support Project V (Appraisal Report)”, http://www.afdb.org/en/documents/document/uganda-road-sector-support-project-v-appraisal-report-48618/

作成日： 2016 年 4 月 21 日

ドナー (3)	デンマーク国際開発庁 (Denmark International Development Agency: Danida)
支援概要	2000 年に向けたデンマークの国際協力政策とそこに含まれる交通インフラ分野政策では、分野横断的課題として開発における女性の参加を促進するとしている。運輸交通分野政策では、女性と男性のニーズ及び優先度を確認し、統合するために、特にジェンダー分析を全ての事業において実施するとしている。(出典 1)
案件例	Road Sector Programme Support (RSPS) (1999 年～2002 年) RSPS は、ウガンダ政府の 10 か年の道路セクター開発計画 (1996/97-2005/06) の実施支援のために計画され、北部地域の道路網の整備や制度への支援などが含まれていたが、RSPS で実施され、成功したジェンダー主流化戦略には以下が含まれている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸交通プログラムのすべての段階でジェンダーを導入すること ・運輸交通の活動の全ての局面で、community mobilizer と gender officer を含めること ・事業の設計・実施・モニタリングを導くためのジェンダーガイドラインの策定 ・政策・計画・実施・モニタリングのための男女別データ収集の改善 ・運輸交通関連の研修施設でのカリキュラムや教材への、ジェンダーの導入（出典 1）
出典	1. World Bank (2003) “Integrating Gender Into World Bank Financed Transport Programs: case study UGANDA ‘Road Sector Programme Support (RSPS)’”, http://siteresources.worldbank.org/INTGENDERTRANSPORT/Resources/Uganda.pdf

作成日： 2016年 6月 16日

4. SDG: ジェンダーと運輸交通に関する目標およびターゲット

目標	ターゲット
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。
	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

5. 参考情報

ジェンダーと運輸交通 (JICA 内の執務参考資料、他ドナーの資料)	
JICA (2015) 『事業におけるジェンダー主流化のための手引き【運輸交通】』	ジェンダー平等・貧困削減推進室にて入手可能
ADB (2013) “Gender tool kit: Transportation”	http://www.adb.org/documents/gender-tool-kit-transport-maximizing-benefits-improved-mobility-all
世界銀行 (2010) “Making Infrastructure Work for Women and Men”	http://documents.worldbank.org/curated/en/2009/01/13589227/making-infrastructure-work-women-man-review-world-bank-infrastructure-projects-1995-2009
ウガンダ国におけるジェンダー状況	
JICA (2007) 『国別ジェンダー情報整備調査報告書 (ウガンダ)』	http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/a0b426e5087691cf49257afe000cdf45/\$FILE/ATTYFSKN.pdf/%E8%A6%81%E7%B4%84%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf
JICA (2007) “Country Gender Profile (Uganda)”	http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/cfe2928f2c56e150492571c7002a982c/a0b426e5087691cf49257afe000cdf45/\$FILE/ATTP15N8.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202007.pdf
世界銀行 (2005) “From Periphery to Center: A Strategic Country Gender Assessment”	http://siteresources.worldbank.org/INTAFRREGTOPGENDER/Resources/ugandaSCGA.pdf
A Project of the Global Network of Women Peacebuilders (2010) “Women Count – Security Council Resolution 1325: Civil Society Monitoring	http://www.gnwp.org/resource/women-count-%E2%80%93-security-council-resolution-1325-civil-society-monitoring-report-2010

Report 2010”	
Centre for Women in Governance (2012) “Monitoring Implementation of Uganda Action Plan (NAP) for UNSCR 1325, 1820 and the Goma Declaration”,	https://actionplans.inclusivesecurity.org/countries/uganda/
ウガンダ国の運輸交通分野における調査報告書、良事例など	
世界銀行 (2009) “Transport Sector Development Project (Project Appraisal Document)”	http://documents.worldbank.org/curated/en/2009/11/11396314/uganda-transport-sector-development-project
AfDB (2014) “Investing in Gender Equality for Africa’s Transformation (Gender Strategy 2014-2018)”,	http://www.afdb.org/en/documents/document/2014-2018-bank-group-gender-strategy-45332/
世界銀行(2003) “Integrating Gender Into World Bank Financed Transport Programs: case study UGANDA ‘Road Sector Programme Support (RSPS)”,	http://siteresources.worldbank.org/INTGENDERTRANSPORT/Resources/Uganda.pdf
作成日 : 2016年 6月 16日	

6. その他、現地調査で得られた情報

作成日 : 2016年 月 日